



09年11月9日のキャンプシュワブ

発行 沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座
沖縄講座 HP <http://www7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/>

一・二・三〇全国集会(日比谷野音)へ!

注目の名護市長選挙は、辺野古新基地建設反対候補が勝利した。普天間即時閉鎖！新基地建設反対！は沖縄の総意だ。1.30(土)日比谷野音へ！

■名護市長選挙は辺野古移設反対の稲嶺候補が勝利した。沖縄講座はヘリ基地反対協と命を守る会に連帯アピールを發した。鳩山政権は断固たる日米交渉に臨まねばならない。沖縄に基地を押しつけて成立してきた〈日米安保と平和憲法〉の戦後体制そのものが問われている。■昨年10月2日の09連続講座〈沖縄・歴史と現在〉第2回の田仲康博さん講演は、参加者は約20人でしたが、充実した内容となりました。沖国大へり墜落事故直後の貴重な映像を持込んでいただいた田仲さんに感謝します。■11月8日の沖縄県民大会には、沖縄講座は7名で参加。ちょうど前日に神奈川県松沢知事の問題

発言が一面トップで報道され、大騒ぎとなった。沖縄講座は7日に知事宛の抗議文を送りつけ、8日の県民大会会場でも2000枚のチラシを配布した。(裏面参照)

■ことは安保改定50周年。11月の横浜APEC前後の日米首脳会談で新たな日米安保の形が見えてくる。当面は「5月末まで」と言われる普天間を巡る日米交渉が焦点となる。「沖縄の自立解放闘争連帯」「反安保」という沖縄講座結成の原点に立ち返り、新たな気持ちで行動したい。30日(土)14時の日比谷野音の全国集会へ！

■辺野古・高江カンパは累計1,076,762円(1月19日現在)。カンパを！

郵振00210-0-2021 沖縄連続講座

09年10月2日第2回講座〈沖縄・占領と現在〉報告

講師の田仲康博さんは、04年8月13日の沖国大ヘリ墜落事件直後の現場の生々しい映像(DVD)を持参。DVD上映後、「占領と現在」ではなく「占領の現在」が正確。「沖国大がアメリカに占領された日」の事故現場にいた多くの人が感じたこと



ことから出発したい、と語り始めました。田仲さんは「まなざし、自然に見える風景」(一つ目の罫)「囲い込まれる『戦後』」(二つ目の罫)「脱政治化される身体」(三つ目の罫)の「三つの罫」を指摘。ヘリ墜落事故直後の沖縄タイム스에掲載された女子中学生の「みんなが声を上げれば基地はなくせる。私は基地のない沖縄を想像することが出来る」という発言を紹介し締めくくりました。(報告は、沖縄講座HPに掲載)

昨年 11 月 8 日の沖縄県民大会には、21000 人が結集。沖縄講座 7 名は松沢知事発言に抗議するビラ 2000 枚を会場で配布し、神奈川からの連帯の意思をアピールしました。



11 月 8 日、沖縄・宜野湾市海浜公園で、「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」（同実行委員会主催）が開かれ、沖縄講座からも 7 名が参加。好天にも恵まれ、開会時間の午後二時を過ぎてても人の列は途切れることなく続き、屋外劇場はすぐに満杯で入れなくなり、周辺の小公園に音声だけの第二会場が出現。参加者数は、21,000 人と発表。沖縄講座は、松沢神奈川県知事の米国講演での暴言に抗議するビラを 2000 枚配布しました（抗議文は 11 月 7 日に県知事宛に送付）。ビラの反響は大きく、あちこちで激励

の声をかけられました。共同通信や琉球新報からも取材を受け、翌日の琉球新報の記事に。大会会場でも、糸数慶子さんが発言の中で私たちの配布したビラについて紹介してくれました。大会後の 10 日と 11 日に実行委員会メンバーは大会決議を携えて上京し、内閣官房、外務省、防衛省、内閣府沖縄担当部局、在日米大使館へ要請行動を展開。神奈川県知事にも抗議文を提出しました。沖縄講座 HP ではこの県民大会の動画（約 4 分）を掲載しています。

大会後の 9 日、辺野古・高江を訪れ、カンパを渡してきました。辺野古では、県民大会当日の午前中にキャンプ・シュワブの浜で米海兵隊 5~60 人が上陸演習を繰り返しているのが目撃され、米軍のこの挑発的な動きに、怒りの声が聞かれました。

琉球新報(ツ) 松沢知事発言の抗議文を配布 神奈川県の参加者

神奈川県からは「沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座」のメンバー約 10 人が会場に駆け付け、松沢成文神奈川県知事の発言に対する抗議文を

大会参加者に配布した。抗議文では知事の発言を「無責任極まりない暴言」「沖縄の人々の切実な願いを踏みにじるものであり、断じて許すことはできない」と撤回を訴えた。メンバーの女性(61)は「沖縄に次いで基地が多い神奈川だからこそ、沖縄にまたしわ寄せがいく

神奈川知事の無責任発言に抗議します!

2009 年 11 月 7 日

神奈川県知事
松沢 成文 様

抗議文

マスコミ報道によれば、あなたは 11 月 5 日（日本時間 6 日）にワシントンにあるジョンス・ホプキンス大高等国際問題研究大学院での講演会で、「普天間基地の県外・国外移設は不可能」「辺野古しか解決策はない」と語ったと伝えられています。さらには、「普天間がこじれると再編全体が遅れる。神奈川にとっても負担減となる計画が遅れてしまう。」「渉外知事会の会長として、米軍再編ロードマップを計画通り進めるのが両国政府の役割だ」とまで踏み込んだ発言も報道されています。

これではまるで先月来日したゲーツ米国防長官の発言と同様の、沖縄に対するあからさまな恫喝です。「渉外知事会の会長」が、いつから米軍の意向を代弁するようになったのでしょうか？沖縄の人々と共に、米軍再編による神奈川県内の基地機能強化に反対してきた神奈川県民として、強い憤りを禁じえません。

「神奈川にとっても負担減になる」となどという認識にも驚きあきれます。キャンプ座間への米陸軍第一軍団前方司令部設置や相模総合補給廠への戦闘指揮訓練センター建設、横須賀への原子力空母の母港化、池子米軍住宅の追加建設などなど、この間進んでいる事態は、神奈川県内の基地機能強化以外のなにものでもありません。

沖縄では、あす 11 月 8 日に、「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」が開かれます。8 月 30 日の総選挙の結果、10 月 31 日・11 月 1 日の琉球新報・毎日新聞の沖縄県民世論調査（県外・国外移設を望む声が約 70%）からも明らかのように、「世界一危険な普天間基地の即時閉鎖!」「新たな基地の押し付けはごめんだ!」これが沖縄の人々の総意です。あなたの無責任な発言は、戦後半世紀以上にわたり基地の重圧に苦しめられてきた沖縄の人々の切実な願いを踏みにじるものであり、断じて許すことはできません。

私たちは、あなたの無責任極まりない暴言に、強く抗議します。ただちに発言の撤回を求めます。

沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座（沖縄講座・横浜）

★11 月 7 日に松沢成文神奈川県知事に送りました。同様の抗議の動きが、神奈川県内で広がっています。（11 月 8 日沖縄県民大会）

辺野古移設は絶対反対。知事の発言は神奈川県民の総意ではない」と語った。

県民大会翌日の琉球新報の記事。

沖縄県民大会の会場で配布したチラシ。